

平成 26 年度第 2 回（通算第 64 回）

山口国際文化化学研究会へのおさそい

教員世話人 稲田秀雄

院生世話人 王 星慧 小野飛鳥 岡村理恵 張超超

日時 平成 26 年 5 月 28 日（水曜日）16 時 10 分より
場所 国際文化学部棟 C-12 教室
主催 大学院国際文化学研究科
発表者 米本太郎（山口鷺流狂言保存会、国際文化学研究科修了生）
聞き手 稲田秀雄（国際文化学研究科 教授）

タイトル 「山口鷺流^{さぎりゅう}狂言の可能性—米本太郎氏に聞く」

要旨 平成 19 年度本学大学院国際文化学研究科修了生であり、山口鷺流狂言保存会会員として活躍されている米本太郎氏を迎え、保存会結成 60 周年という節目の年に際して、山口鷺流狂言の「これから」に特に焦点を当て、地域に伝承される芸能としての今後のあり方を考えます。

- 1、山口鷺流狂言の「今まで」—歴史
- 2、山口鷺流狂言の「今」—現状
- 3、山口鷺流狂言の「これから」—可能性

山口市に伝わる鷺流狂言（山口県指定無形文化財第 1 号）は、プロの流儀としては廃絶した芸系を地域の人々が伝えているものです。その伝承に携わる保存会の主力メンバーである米本太郎氏に、保存会顧問を務める稲田がインタビューする対談形式で行います。

※終了後、第二部として自由なトークを展開できる場（山口国際文化学 SALON）を準備しております。こちらにも皆様の積極的なご参加をお願いいたします。